



オーストラリアワーキングホリデー

◆持っていくもの◆

◆持っていくべきもの◆

～あなたはスーツケース派？ザック派？～

まず大きく二つに分かれる荷物の持っていく方バックパックから見たスーツケースの良さを書いていきたいと思います。

1 シティ滞在派・・・スーツケースがいい。

基本的に学生ビザで来ている人か2年いるつもりがない人はスーツケース。

でも途中で気が変わったら分かりませんが、僕の場合はバックパック派だったのでスーツケースいいなあって思ったことは多々あります。防犯の性能がいいのがいいです。ですがうかつに荷物から離れてしまうと置き引きにもあいますので注意が必要です。

◆鍵をかけられる

ことに関してはすごいアドバンテージだと思います。こと下手に安いバックパッカーズホテルに泊まってしまうとロッカーがないなんて普通にあるんですね。鍵がかけれる＝防犯にもなるということです。シェアハウスでは盗難なんて結構あるんですよ。

それなりに仕事をしている人たちとシェアハウスは住んだほうが健全ですね。モノを盗む理由がないから。

ただ僕がオーストラリア全土のシェアハウスに住んだことがないから一概に言えません。なので鍵がかけれるということがどれほど精神的な安心につながっていることかは私自身痛感したこともありました。

◆荷物が潰れない

特に航空機の荷物室に入れられるとかなりラフに扱われるので割れ物がある場合には重宝があるかもしれません。

デメリット1 あんまり入らない⇒移動に不向き

着替えや仕事がフルーツピッキングなど、移動が多くなってくるとキツイですね。ハンズフリーになりづらく、荷物を手放す機会が多く、同じデザインのもので間違ってしまうと痛いし、何らかの個性的な目印が必要。めったにあることではないですが。

お土産、何かしら手放したくないものが増えると荷物が入りきらずに移動が大変です。ものをあんまり集める人はやめたほうがいいのかもかもしれません。

ワーホリが始まって5ヶ月位の時とかに必要な荷物ごと家に送ってしまって、現地でザックや何かしらの代わりのものが帰るなら話は別ですけど、余計なコストが発生します。

デメリット2 靴が入らない

靴は登山用のを一個持ってくる、あとはスニーカーが一足でいいと思います。あとはビーチサンダルのような薄いやつ、もしくはスリッパと共用できるようなもの。3足でも結構きつかったですね。

それと靴って結構いろんなシーンによっては必要です。

特にフルーツピッキングに関しては全てのものが消耗しますから・・・たとえ入れたとしてもその分何かが入りません。靴が3足ともすべてダメになりました。

しかし、私の場合には都市滞在型ではないのでセカンドビザがいらないというような人には関係のない話かもしれません。靴って意外に高いし現地で買うと地味に滞在費がなくなりますからね。

デメリット 3 移動の時にハンズフリーにならないのと重いこと

移動が少なければすごく取り回しはいいと思うんですよ。でもオーストラリアというのはバスでは回りきれないし、飛行機での移動が多いので重量制限に引っかかる可能性が高い。空の状態でも重いので意外にモノが少し増えただけで重量オーバーになってしまうことも多々あります。

「20キロの重量制限でチケット買ったのに通れない！」とか言ってゲートの受付が始まる前のゲートの重さを測るコンベアを使って荷物の重量を測っている人たちは結構いました。

デメリット 4 キャスターが壊れるとやっつけられない

キャスターが壊れるとはっきり言ってもものすごく邪魔になります。大体安いところではシドニーのチャイナマーケットに行けば格安で手に入りますし、為替の状態によっては日本円で買うよりも安くなるからです。(でもすぐに壊れます)

そのほか小さなナップサックは必要かと思います。通学やちょっとした勉強で図書館に行く時などに必要かもしれません。

もしスーツケースがいいなら・・・

ソフトスーツケースというものであれば多少は容量が増えたりするので使ってみてもいいかもしれません。

⇒<http://matome.naver.jp/odai/2132912608069551001> (ソフトビニールケースについて)

2 ラウンド派・・・リュックザック、バックパックがおすすめです

都市に滞在する必要がなく、ピッキングやカントリーサイドを仕事しながら回りたい人はザックが向いています。だいたい 60L か 40L の登山用でいいと思います。

次はザックのいいところを書きます。スーツケースは背負えないだけの煩わしさがあします、僕的に。なので僕はいたって語学学校に行くわけでもなく、結構仕事を転々としながら各地を旅を兼ねて行こうと思っていただけです。

私と同じような考えの方は「ザック IN ザック」(僕が作りました)という 80L のザックのかなに機内に持ち込む様の小さなザックを入れることで飛行機に乗るときの重量を限りなく軽減できます。

私は実際には 15 キロのまま飛行機に乗っていましたからね。では以下からザックの利点です。

1・・・背負える

単純に背負っていくので空港などで置き引きや間違われて持っていかれるということがなく自分が常に肌につけているので(基本荷物から離れるとそわそわする)安全は自分の自己責任ということで扱えること。

常にハンズフリーになるのが個人的には好きだからというのがあります

2・・・荷物がパッキングしだいで結構入る

僕はコミュニケーションツール？ということでバックパックギターを入れていました。

これがまたかさばったわけですが・・・

でも自分が持っていきたいものは全部入れれたし何かと現地でモノを交換したり衝動買いをしてもパッキングしだいで入れることができる。あと靴も考え次第で入れることができるし、僕はザック IN ザックで2段構えをしていたので何かとモノ運びに関しては不便はなかったように思います。

3・・・移動が楽

仕事って唐突に決まるから荷造りも超早くしなきゃいけないんですよ。そんな時にガバッと入れられるのは嬉しい限りですよ。背負うから置き引きにも合いませんしね。

欠点1・・・鍵がかからない

基本バックパッカーズホテルではかなり困りますロッカーが空いていなかったりするとなかなか荷物の置き所が不安だったりします。PCや貴重品、なくなって困るものをちいさなザックに入れて肌身離さず持っていたときのことを鮮明に覚えています。

しかもロッカーにはYHAですら鍵はついておらず、南京錠を買う、もしくはチェーンの鍵を買うなんていことにもなるかもしれません。

(私は日本の100円均一のやつを持って行きました)

欠点2・・・結構ラフに扱われるとモノが壊れる

航空機の荷物室は少し勘弁して欲しいところですが・・・結構投げられます。のであんまり壊れるようなものは入れない方がいいと思います。

多分スーツケースを好きな人はもっと好きなの角度から見たことが言えると思います。

例えば航空手荷物の中で下積みされても壊れないとか。単純に僕がザック派だからひいきをしまっているのも事実です。

元々僕はザック派であり、最初から移動をにらんだ生活を目指していたのでスーツケースは選択肢になかったんです。

何がそうさせたかといえば、バックパックギターを突っ込んでオーストラリアを回ることが外せなかったためにザックに決定したわけなんです。その他荷物のパッキングは人それぞれですね。

◆あいだを取るなら◆

ザックは 30L 程度、スーツケースも 40L 前後のサイズを使い、両方を組み合わせるということが一番のスタイルとしてはちょうどいいと思います。こちら辺に関しては旅慣れの経験値が反映される部分ですのでいろいろ試してご自身ごとのスタイルで行かれるというのが一番。

スーツケース、ザックともにオーストラリアで購入可能ですから。

◆持ってきたほうがいいもの～衣類編とその他の役に立つもの◆

・化学繊維の衣類・・おすすめはユニクロのヒートテックや収納式のダウンジャケット

下着や着替えは化学繊維のものオンリーで僕は行きました。基本都市滞在型というスタイルではないというスタンスからこのような結論を出しました。あとは実際にバックパッカーズホテルに行ってわかったことですがランドリーはものすごく料金が高いです。

なのでシャワーを浴びながら踏み洗いをするということは何度かは経験されるかもしれません。

ちなみにパーティー用の正装というものはいりませんでしたね。巷では必要なものと言われてはいますけどね・・・

基本ホストファミリーやシェアハウスに最初から行けないならバックパッカーズホテル等に宿泊をしたいと思います。そしてコインランドリーも高いので、洗濯はシャワーを浴びながら踏むというスタイルになると思います。

こういう時に乾きやすさを考慮するとすごく利便性が高いです！ 実際にオーストラリアのランドリーってめちゃめちゃ高いんで、こういうことを見越しておくとなかなか現地での動きがスムーズでし、部屋干しでちゃんと乾くのはメリットですし、生乾きでも来ているうちに乾きますからね。

・もし買えるならアウトドア用のレインギア(雨具のこと)があると便利

上の写真は汚くて申し訳ありませんが、私が最後に住んだケアンズのシェアハウスでいらなくなり、売りに出した時の写真です。掲示板に掲載するためでした。

上のような GORE-TEX の雨具があっただけで実は結構違います。

オーストラリアは場所ごとに気候がものすごく違うので、こう言うジャケットが重宝します。私の場合はアリススプリングスで働いたこともあり、砂漠性気候の温暖さに大してものすごく有効でした特にメルボルンは気温差が激しいのでそんなに服がかさばりたくないという方には一着くらいあつ

たほうがいいでしょう。

オーストラリアのを買うよりはこっちのほうが多機能ですいろいろ使えます

・南京錠

これは結構「何言ってんの？」っていうツッコミが入ると思うんですよ、しかし私は必須です。特にホームステイをしないでバックパッカーズホテルに直行する人にとって必需品です。

これはオーストラリアでも売っていますがいかんせんちやちくて危ない！なんでかという、基本鍵ごとに実は鍵のギザギザって違うと思うんですよ。

だから鍵ってあかないんですよ。でもオーストラリアの鍵って希に開くんです(笑)確かにそれほど高い確率ではないんですが、僕は出くわしましたね。ただパソコンやパスポートを入れる、預けるということを考えるのであれば、日本から持っていくのがベストです。

・靴(足回りは頑丈な方が経費が安く済む)

実はこれの選び方が超重要です。特にフルーツピッキングに従事する人にとっては死活問題ですね。僕は GORE TEX のごついやつを持って行きました。基本スニーカーなんて3ヶ月でボロボロでした。

現地のスニーカーはあんまり安いのはすぐ壊れるためにその場しのぎの安物で間に合わずでなく、きっちりしたものを一回で買ってしまった方がお金の節約になりますしサイズが合うものは現地にはあまりないです。

GORE TEX なら雨でもぬかるみでも砂漠でもいろんなシーンに対応でき、長持ちするのは経済的です。

写真のものが僕が一時帰国の時に買ったものです。これが一足あるだけで本当に違います。ワーホリが終わってその後の海外の旅に行かれるという方でもオーストラリアにワーホリ中をピッキングで過ごすという方も足回りは固めておいたほうが無難です。



それと日本で買っていくとやっぱり高いです、現地に行って済ますということであれば、現地の安全靴を一番高い 70 か 60ドルくらいのものを買ってしまい、それを普段のものと兼用するというのも手かもしれません。

ただサイズが合わずに靴下に穴があきまくるというおまけも付きますが・・・

そして空港では止められまくという(金属探知機に)ことになります。ただオーストラリア製のものということであれば結構やんわり通してくれたりします。他国のものだと警戒されます。(やむなしでしょ

うか)

その際にはカンタス航空ではレシートを提示しろと言われるのでレシートはちゃんと持っておく必要がありますし、オーストラリアのお店のレシートははっきり言ってすぐに消えます。印刷面を内折にしてなお3, 4日経てば消えてしまうのが欠点です。預けて荷物に入れておくのが無難です。

ラウンドや仕事の種類によって自分の荷物が消耗するのは仕方なしにしても資金を少しでも自分の限りあるワーホリに投入したいですね。

そのためには消耗品をいかに消耗しないかも重要な気がしましたので書かせてもらいました。

・IELTS のスコア

オーストラリアでは TOEIC は通用しません。なぜなら「話す」という項目がないのになぜ話せることと同義なのか？ ケアンズカプランインターナショナルスクールの IELTS テストのコーディネーターがいていたんです。

INTERNATIONAL ENGLISH LANGUAGE TESTING SYSTEM

Test Report Form

GENERAL TRAINING

NOTE Admission to undergraduate and post graduate courses should be based on the ACADEMIC Reading and Writing Modules. GENERAL TRAINING Reading and Writing Modules are not designed to test the full range of language skills required for academic purposes. It is recommended that the candidate's language ability as indicated in this Test Report Form be re-assessed after two years from the date of the test.

Centre Number [REDACTED] Date [REDACTED] Candidate Number [REDACTED]

Candidate Details

Family Name SHIMADA

First Name IZUMI

Candidate ID [REDACTED]

Date of Birth [REDACTED] Sex (M/F) F Scheme Code Private Candidate

※性別を間違えています。

しゃべる部門のテストがないのになんでしゃべる能力があるとみなされるのかがわからないと、根本なことが理解できないという辛口の評価です。移民文化なので IELTS が主流です。同じく雇い主が移民であるとすれば、スコアでどの程度話せるかがわかるというのが分かるのが把握できるから雇いやすいんです。

雇い主もその同じ道をたどってきたということであればなおさら共感もしてくれるでしょうね。

はっきり言って TOEIC は意味がないので時間があれば IELTS を受けてスコアが 4.5 でもいいくらい。理想は 5.0 から 5.5 だけど受けてみるとういのが一番いいです。

履歴書にかくと雇用先の反応率が上がるのは確かですよ。

YHA カード(ユースホステル会員証)



YHA、YH カード(英語に挑戦！)を作る人は→www.yha.com.au/

日本語で無難に作る人→www.jyh.or.jp/international/index.html

なぜなら YHA の会員証があつたらしく安になるようなことが多くあるからです。

例えば

「ガン号」と呼ばれる寝台電車がアリススプリングス-ダーウィン、アリススプリングス-アデレードで走っており、これを利用するときは YHA カードを作っているということを伝えると YHA 料金で乗ることができる。

そのほか、YHA(正確には YH)の系列のホテルで割引料金で泊まれる。

YHA で開催しているツアーに会員料金で参加できる。

はっきり言ってこの会員カードを発行した時の手数料以上は簡単に元は取れますよ！絶対にあって損はないです。

日焼け止め対策

オーストラリアは紫外線がものすごく強い国であり、日本の 7 倍も強く、国有病クラスとも言える皮膚がん大国です。オーストラリアの TVCM を見ていると必ず皮膚がんの募金を募 CM が出てきた

ほどですから。

なので私の場合はほとんど長袖で過ごす、あとは日焼け止めクリームを塗って過ごすなどの対策が必要です。特に地域ごとに気候が違うので気をつけましょう！

一例を挙げると

僕は6ヶ月間アリススプリングスは45.8度の中でも働いていました。もちろん紫外線の強さも容赦がないです。そんな中で私は日焼け度目クリームは汗で落ちでしまうので長袖で過ごす(どんなに暑くても)ようにしていました。

どんなに暑いかというと、ペットボトルは一日5.6本は凍らせたものを持ちながらでしたが一日でなくなるくらいです。その上気温に対して乾燥度が高いので自然に発火してしまうから気をつけていないといけません。

僕のような極端な例はそんなにはないと思いますが、日焼け対策は各自で本当に十分にしましょう

◆インターネットの電波を拾う端末もしくはPC◆

項目の順番が逆になってしまいましたが、オーストラリアはワイファイ先進国です。図書館でも街の中のワイファイスポットが存在し、日本のように会社毎のワイファイスポットが存在しています。特にパースのメインストリートはワイファイが飛んでいます。

そのほかはオーストラリアのマクドナルドや、ハングリージャック(地元のファストフード店)では無料でインターネットが使えますし、オーストラリアで求人に応募するということは主にネットからになると思います。

のちのち現地に着いた時に最初にやることで書きますが、オーストラリアでの情報収集はインターネットが主です。インターネットに関してはブロードバンドというパソコンのメモリースティック型のインターネット接続ツールが購入でき、それをUSPジャックに差し込むのでPCがおすすめです。

아이폰などを持ち込む時はSIMロックがかかっていたとしても国際電話の代わりにLINEやソーシャルメディアへの接続はできるので持って行って損はないですし、デジカメの代わりにになるので一石二鳥以上の価値はあります。

・ミクシーアカウント

意外かもしれませんが？なんでかといいますと、現地編の方で実は仕事の探し方について動画でも、仕事探しのサイトの一覧の特典でも掲載しますが実は現地での仕事の求人が一番早く出るのはミクシーです。というのは(ジャパレス)のオーナーは意外にミクシーユーザーですし、日本人を

好んで雇いたいからです。

その他、人気のファクトリーの仕事もミクシーで出回ったりするので実は重宝します。

・フェイスブックアカウント

このアカウントは友達との情報共有にしましょうね！ピッキングなどでは(仕事編で解説しますが)何かしら友達がどこにいて何をしているのかだったり、実際にオーストラリアの地名で検索して永住している人に仕事のことで法律のことで聞いてみましょう！意外な発見ができますよ！

そのほか一般的に必要とされるものは

- ・電子辞書
- ・語学学校に行かれる人は何かしらの話題のたねになるもの(私のようにバックパックギターとか)
- ・ワードで作った履歴書の元データ
- ・英語の勉強に必要なもの
- ・そのほか個人が持っていきたいと思ったもの
- ・印刷した数枚の履歴書

といったところです。

あなたご自身が持っていきたいものを選んでくださいね！

・国際免許はあったほうがいいのか？

結論からいったら「車の運転が好きな人やデリバリーの仕事がしたい人」はあったほうがいいでしょう。

工業系の仕事やフルーツピッキングは車もちじゃないと面接に通りませんしピッキングファームの場合はピッキングの仕事が優先的に入りますし、ピッキングの仕事が入らなくても送迎の仕事が入ります。

車が絡む仕事というのはまず間違いなく20ドルに近い時給で働くことができるのでワーキングホリデーにおいて仕事をとることや求人に応募することのできる資格だったりします。現地に行ったら車の購入を試みるのも手です。

国際免許の申請は実際簡単です。

「国際免許の発行に関しては期限日に日本にいないことを証明する書類、もしくはそれを証明するもの提示が必要」と警視庁のHPには書かれており、留学証明を必要とするというニュアンスを漂わせています。

しかし、実際はパスポートと国際免許を作ってくださいっていうだけなんですね。

更新の講習を受けている間にできていました。実際は期限が短くなるというデメリットしかないため特にあっちも断る理由がなくすんなり発行できるので作っておいて損はないです。

2400+3100 で 5500 円でした。ちなみにこれは僕の地域の本免センターで取れました。ご自身が免許を取られたところに確認してみてください。

自治体によっては判子が必要とも警視庁のHPには書いてありました。

しかし、なんも難しいことはなく、簡単に取れますし、オーストラリア現地で応募や付ける職種や時給の高い仕事に就くことができる可能性があります。持っていただけ損はないと思います。

私がつかったホテルのインターンにも実は必要だったりすることあるから。

エアーズロックのインターンにも職種によっては関わってきます。

特にホテルなら PA (パブリックエリア) というホテルの外観を整えたり、庭の掃除をしたりする仕事に付ける可能性が高く、それらには車の運転免許証が必要だから

市街地でも日系の食品配達の仕事ができるから持って行って損はないです！車の運転が好きな人はやってみていいですし、ダイレクトに仕事に関わってくるので必ず持っておいてもいいと思います。